十中だより

6月号

令和5年　6月　8日
文京区立第十中学校
校長　　南　　英昭

自分たちでつくる

やわらかな初夏の日差しが心地よい季節となり、学校では大きな行事が実施される時期になりました。行事は生徒にとって単なる活動ではなく、練習や準備の過程で様々な体験が得られ、仲間と協力してつくり上げる達成感や成就感などが獲得できるものです。今後の成長に大きく関わる貴重な機会でもあります。今年は、制限がほとんどなく、時間や場所が確保された中での実施となりました。短い準備期間の中、自分たちで内容の質を高める工夫や努力をして行事をつくり上げる、十中生の創出する力の高さが際立ちました。

運動会

《開催》

５月２０日（土）、前日から当日朝にかけての雨で開催が心配されましたが、第７５回運動会を決行いたしました。実施にあたっては、朝から整備していただいた六義園運動場の方々の尽力もあり予定時間より１時間遅れで競技を開始することができました。開会式の時点での気温は高くなく、少し肌寒い中でのスタートでした。しかし、みんなの活気で次第に気温も上昇し、運動会日和となりました。

開会式

《演技をつくる》

午後の最初の種目「３年創作ダンス」は、音楽に合ったのびやかでリズミカルな演技を披露してくれました。特に２曲目の演技は、ダンスリーダーを中心に自分たちで全て考えた独自の振付で、とてもよく揃っていて見事でした。最後には、１，２年生や保護者方からの拍手が会場一杯に沸き起こりました。

3年創作ダンス

《結束力を高める》

２週間の練習期間中に学級内でお互いに意見を出し合いながら、上達していった学年種目。思いやりのある言葉が多く聞こえていた学級ごとの練習を経て、当日は今までで一番うまく、速く、多くできている学級が目立ちました。上達の早さに驚かされました。

1年学年種目

3年学年種目

《気持ちをつくる》

昼食後の「３年生の創作ダンス」の前に３年生は自分たちで円陣を組み**気持ちをつくって**から演技に臨みました。特に決まっていたわけではありませんが、気持ちを一つにするために自然に始まりました。また、終わった後もみんなで拍手をし合い、お互いをたたえ合うことができる素晴らしい集団です。

《みんなでつくり上げる》

2年学年種目

運動会では、生徒は競技者・演技者としてだけではなく、運営進行する役割も担っています。放送、招集誘導、用具、出発審判、採点などの各係の働きと生徒全員の協力姿勢により円滑に進行することができました。十中生の総合力が発揮され、結果として予定時刻より３０分早く終了することができました。

また、今年は来賓の方をお招きすることができ、多くの保護者の方にも参観していただきました。ＰＴＡの方々にも係等で御協力いただき感謝申し上げます。

第3学年　修学旅行

３年生は、５月３０日から６月１日まで奈良・京都方面へ修学旅行に出かけました。

１日目は奈良でのクラス別行動、２日目は奈良から京都へ電車・バスを利用しての班行動、３日目は京都でのタクシー班行動を行いました。班行動は自分たちで見学地を選び、コースをつくり、学習した名所を現地で見学しました。

清水寺

東大寺

奈良、京都ともに海外からの観光客も増え、平日にも関わらず混雑していた見学地も多くありました。他国の人が熱心に訪れる場所や歴史について、自国の人として十分な知識を備えていたいと改めて感じました。生徒が訪れた見学地は、どこを見ても国宝や重要文化財が溢れており、貴重な思い出になったことと思います。